

結びつけて考えないとすれば、どうやって一般の飼い主に納得させることができるのでしょうか—「避妊は望まれずに生まれてくる子犬／子猫を減らすだけでなく、ペット自体の健康にも重要なのだ」ということを。しかし、何といても、里親に引き渡す前に全動物について確実に去勢・不妊手術を済ませておくことが、私ども動物保護に携わる者すべて——個人でも、グループでも、また、大規模な福祉団体であろうと——に課せられた責務なのです。

動物を救助しリホームするにあたって、避妊は疑いもなく重要な問題ですが、それ以外にも考慮すべき点があります。私どもには、里親に引き渡す動物が健康で、避妊措置をすませたかどうかの確認だけでなく、一般にペット飼育法のレベル向上をはかる義務があります。この夏、名古屋で開かれた「動物サミット」で他のグループと話している時に次のような発言がありました。

「成犬に里親を見つけるのはほぼ不可能です。誰もが小さくてかわいい子犬をほしがりますから」
実際その通りです。でも、子犬の飼育

にはいろいろむずかしい点があること、フレンドリーな成犬の方がどれほど飼いやすいかを説明すれば、人々の考えが変わることもあります。

「みんなは子犬をただで貰えると思っているから、こちらからお金を請求するわけにいかないのです」
ただで動物を譲渡すれば、貰った人は無価値なものだと思って粗末に扱い、捨ててしまったりします。

「早期去勢・不妊手術をしてくれる獣医師を知らないのですが…」
それなら、知り合いの獣医師に、やり方を研究して手術してほしいとお願いすることです。6か月の子犬／子猫を手術できるのなら、5か月でやってみて、次には、4か月、そして3か月という風に。麻酔術、外科的技術と同様、医師個人の自信の問題だと言えます。

「犬を鎖につないで飼っては駄目だと言うと、里親を希望する人がいなくなるのでは？」
一般の飼い方に合わせてレベルを落とすのではなく、基準を引き上げるのが私どもの責任です。大抵の人は「犬はつないで飼うもの」と思い込んでいま

すが、それが犬にどれほどストレスを与え、吠えたり咬んだりする誘因になるかを説明し、「あなたはお子さんにも同じようにしますか？」と質問すると、つないで飼うことがどんなに残酷であるかを理解してくれるようになります。

アークは、他の多くの動物保護団体同様、一個人の努力によって始められました。経験から学んで、歳月とともに大きくなり、進歩してきました。経験上わかるのですが、一般に人は実際問題よりも感情を優先させるものです。「かわいそうな動物」を目の前にすると、同情が先に立って後のことも考えずに助けてしまいます。しかし、行動する前に、考えて下さい——ペットを飼えるだけの十分なスペースと時間があるか、他の人からどれくらい援助が得られるか、金銭的に大丈夫か…など様々な点について熟慮する必要があるのです。

動物保護とリホーミング活動を計画している方、また、すでに始めている方のために、私どもが実践していることの要点を次に述べます。参考になれば幸いです。

neutering. These have had remarkable effects in reducing the overall number of animals being euthanized in American shelters.

The situation in Japan is far worse since the concept and practice of early neutering has only been adopted by a handful of veterinarians and some veterinarians actually oppose neutering in any form even of adults. If the veterinarians don't connect the horrendous numbers of animals killed in the gas ovens of the hokensho with the need to neuter, then what chance do we have to persuade the general pet-owning public that it is important, not only for reducing numbers of unwanted litters but also for the health of their pets. But more important still, it is all of us whether working as individuals, or in groups or in larger animal welfare societies, that should take responsibility and make sure that all the animals we rehome are neutered.

While neutering is paramount there are also other considerations when rescuing and then rehoming. We not only have duty to make sure the animals we rehome are healthy and neutered but we also should be raising the

level of pet-keeping in general. Here are some of the comments I received when talking to other groups at the recent Animal Summit in Nagoya.

" it is almost impossible to rehome older animals, everyone wants a cute little puppy. "

That is true but if you talk to people about the problems of raising a puppy and how much easier it is to take on a mature friendly dog, they often change their minds.

" we can't charge any money because people expect a free puppy. "

If you give away any animal for free, people will think it has no value and therefore easy to throw away.

" we don't know any vets who will do early neutering. "

Then you have to persuade the vets you know to study how to do it and try. If they can do neutering at six months then how about at five months, then next four and three months. It's as much a question of the veterinarian's personal confidence as his/her's anaesthetic and surgical skills.